

福島のおゆき国会日誌

<通常国会開会にあたって YouTube 配信>

26日、令和6年の通常国会が開会しました。とはいえ、自民党派閥パーティーの裏金問題を受けて、初日恒例の総理の施政方針演説は行われず、自民党議員たちも「どうなっちゃうんだ」と浮足立っている感じで、いつもとは雰囲気の違いの開会日となりました。

この国会の二つの大きなテーマは、能登半島地震の復旧復興と政治改革・国会改革ですが、これからどのような議論が行われ、どのように閉会を迎えるのか、まったく五里霧中の状況です。ここ数十年で最大の政局の時を迎えたと言えるでしょう。

私は、無所属の議席を地元の皆さんからお預かりしている立場を最大限生かして、既存政党の枠組みを超えた本質的な政治改革を実現するために行動してまいります。

国会開会を迎えた思いを YouTube で述べています。▶



<与野党国会対策委員長会談 少数会派への配慮に期待>



国会開会に先立ち、久しぶりに与野党国会対策委員長会談が開かれ、新たに自民党国会対策委員長に就任した浜田靖一さんから、野党と丁寧な合意形成を図っていくことを表明しました。第二次安倍政権以降失われていたかつての自民党国会対策の姿勢が戻って、安心いたしました。私からは、少数会派にも配慮した運営を行うことを求めました。

<日本共産党新役員のあいさつ>

26日、新たに女性として初の委員長となった田村智子さんをはじめとする日本共産党の幹部の皆さんが、会派控室にご挨拶にいらしてくださいました。新委員長が、どのような国会での手綱さばきをするのか注目してまいります。



<有志の会 予算ヒアリング>

26日、有志の会では、参議院の上田清さん、広田一さん、永江孝子さん、平山佐知子さんも加わり、来年度予算案のフレームワークについて財務省からヒアリングを行いました。衆参ともに、無所属の同志たちと共に国会審議で存在感を示してまいります。



<予算委員会 岸田首相に質問>



24日、予算委員会閉会中審査で、能登半島地震に関する質疑を行いました。

冒頭まず、水戸葵ライオンズクラブの仲間がいち早く被災地に炊き出しの支援に入ったことを紹介し、そこで受けてきた声を岸田総理に伝えました。岸田総理は「プッシュ型の支援を行っている」と何度も言いますが、もっと国が前面に出たきめの細かい支援の必要性を訴えました。

本題は、志賀原子力発電所で起きていることの広報です。原子力規制委員会のホームページからは、なかなか欲しい情報が得られません。一方、ネット上ではさまざまな情報が飛び交っています。私や斉藤鉄夫国土交通大臣が、東海村 JCO 事故の後に作った原子力災害対策特別措置法やそれに基づく原子力防災体制が生かされていません。「しっかりしてくれ」と訴えました。事前に原子力規制委員会には詳細に今回の問題点と対応策を伝えていたので、岸田総理からはそれなりに前向きな答弁をいただけたと思います。

ただ、持ち時間がたったの5分では満足な議論はできません。20~30分は議論に必要なテーマです。1999年の JCO 事故、2011年の福島第一原発事故に続き原子力災害は、もう絶対に目にしたくありません。引き続きほかの場でも、訴えてまいります。

質疑の様子は YouTube からご覧ください。▶

